

お知らせ

Press Information

「ドイツ連邦共和国功勞勲章功勞十字小綬章」を受章

2009年4月22日

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下、MBJ)の代表取締役社長 兼 CEO ハンス・テンペルは、この度「ドイツ連邦共和国功勞勲章* 功勞十字小綬章」を受章致しました。

勲章伝達式は、本日 東京都港区のドイツ連邦共和国大使公邸にて行われ、ハンス=ヨアヒム・デア駐日大使より同勲章が伝達されました。

今回の受章は、日本におけるドイツ自動車産業の振興に努め、車に関わるドイツの環境・安全技術を継続的に紹介するだけでなく、「日本におけるドイツ年」や日独の大学間における学術交流を行う「ドイツ学術交流会(DAAD)」、ダイムラー・グループが行っている現代美術を担う日独間の若手アーティストを育成するプログラム「アーツコープ」などの文化活動への支援などを通じ、日独間の相互理解の促進に寄与してきた功績が評価されたものです。

なお、MBJ 前社長のライナー・ヤーンも同章を受章しています。

*ドイツ連邦共和国功勞勲章は、ドイツ経済の発展に貢献した人物への功勞を称え、ドイツ連邦共和国より授与されるものです。

ハンス・テンペル 略歴:

1952年ドイツ・ボーフム生まれ。1978年、ダイムラー・ベンツ AG(現ダイムラーAG)入社。1986年に来日し、1991年までMBJの乗用車販売、企業戦略、経営管理部門の責任者を歴任。ドイツ帰任後、様々な要職を経て1999年、ダイムラー・クライスラーAG(現ダイムラーAG)バイス・プレジデントに就任し、商用車部門の営業/マーケティングを統括。2002年に再来日し現職。



(右) ハンス=ヨアヒム・デア駐日ドイツ大使
(左) ハンス・テンペル